

わが

「実・湧・満・彩」 復興から新ステージに向けて

はじめに

東日本大震災・原発事故から8年余り、福島市は、国内外からご支援をいただきながら、着実に復興に取り組んできましたが、いまだ風評が残るなど復興道半ばの状況です。

復興の次に創生⇨新ステージがあるのではなく、復興を越えた新ステージを目指してこそ復興も成し遂げられる：それが私の実感です。



福島市は四季の果物が楽しめる「くだもの宝宝箱」

おかげさまでインフラは急速に充実し、復興五輪として野球・ソフトボールの試合開催が

決定、本市出身古閑裕而こせきゆうりゅうご夫妻をモデルとするNHK朝ドラ「エール」が令和2年4月から放映されることになりました。

こうした環境をフルに活用し、災害で高まった知名度を逆手に取って、「実・湧・満・彩」福島市（本年、全国公募と投票によって決定した新キャッチフレーズ）の新ステージをつくっていく方針です。

風格ある県都を目指して 中心市街地再生と広域連携

中心市街地の再生は本市でも大きな課題であり、平成30年末「風格ある県都を目指すまちづくり構想」を策定、本格的な再生に着手しました。

二つの中核病院がリニューアルし、今後、福島駅東口の広いブルックに大規模な再開発ビルと県

立医科大学の新学部が整備されま

す。市の老朽公共施設は再編統合し、再開発ビルの中にコンベンション施設を、市役所西側には市民利用機能を集約し、庁舎機能と統合した新西棟を整備します。民間と連携の下、高次都市機能を集積しつつ、本市らしい文化的色彩や街なか居住などソフト面を充実させて回遊性を高め、広域の拠点にふさわしいにぎわいと活力ある中心市街地を目指します。

また、広域的な人口定住と地域活性化を図るため、全国的に珍しい3県にまたがる11市町村で福島圏域連携推進協議会を設立しました。まず男女の出会いの場「縁結びツアー」や道の駅などを巡るスタンプラリーなどに取り組んでいきますが、今後、広域的連携を深化させるとともに、連携中枢都市圏

の形成についての協議も進め、圏域全体の発展に努めていきます。

東京2020大会を契機としたまちづくりのグレートアップ

オリンピック会場となるだけでなく、ソフトボールの試合が開会式の2日前に実施され、東京2020大会全体の幕開けとなることは、本市にとって大変光栄です。

このため、本市独自に「2020ふくしま市民応援団」を結成、市民の活動に応じた応援をすることにしました。今後、市民参加の大きな



「東京オリパラ500日前イベント」では市長とオリンピックとのトークショーを実施



「桃源郷」とも称される、春の花見山公園

財産になるものと期待しています。

また、オリンピック・パラリンピックの理念を踏まえ、将来を見据えたまちづくりのグレードアップに重点的に取り組むこととし、スポーツイベントや合宿などできわうスポーツのまちづくりを目指します。

さらに、「共生社会」の理念の下、多文化共生を推進することとし、ホストタウンとの交流はもとより、多言語表示や公共トイレ洋式化といったインバウンド対応の取り組みを進めます。まちと心のバリアフリーを加速するなど、オリンピック・パラリンピックの遺産（レガシー）を創出する取り組み

を官民挙げて推進していきます。

古閑裕而さんを活用した地域振興

NHK朝ドラ「エール」のモデルである古閑裕而氏は、本市唯一の名誉市民であり、「長崎の鐘」や夏の甲子園大会歌「栄冠は君に輝く」・阪神タイガースの「六甲おろし」・前回の東京オリンピック入場曲「オリンピック・マーチ」など、広く親しまれている曲を数多く残しました。

朝ドラの放映決定は、古閑氏の妻金子さんの故郷豊橋市などとともに練り広げた活動が実を結んだものであり、全市民で喜びを分かち合いました。

今後「古閑裕而のまち福島市」としてシテイプロモーションを展開するとともに、古閑氏の素材を活用したまちづくり・文化振興を推進し、併せて引き続き、古閑氏の野球殿堂入りの実現を目指します。

「子育てするなら福島市」に向けて

大震災の影響などに伴い、子育て世代や子どもたちの層が薄くなってきており、子育て支援や教

育の充実が最優先の課題です。

県内最多であった待機児童については、官民合同の対策推進会議を設置し、待機児童対策緊急パッケージを取りまとめました。「保育の受け皿の拡大」と「保育士の確保」を柱とした対策により、平成30年4月には前年比半減、本年4月には15人減の97人となりましたが、本年10月からの幼保無償化

による保育需要の増大も見据え、

保育士を目指す学生への奨学金の創設やAIによる入所選考など対策を強化しました。

また、学校トイレの洋式化、ICT環境の整備などを急ピッチで進めるとともに、今後は特色ある教育・保育の充実を推進し、「子育てするなら福島市」の実現を目指していきます。

プロフィール

- ◆ 面積 767・72km²
- ◆ 人口 27万8121人
- ◆ 世帯数 12万3180世帯

〔将来都市像〕ときめきとやすらぎ希望にみちた人間尊重のまち 福島市

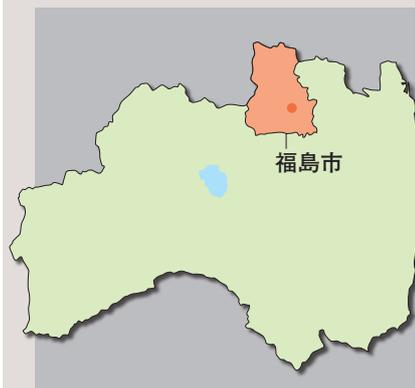
〔まちの特徴〕雄大な吾妻連峰、8年連続水質日本一の荒川、四季折々の果物など、彩り豊かな美しいまち

〔市町村合併〕平成20年7月1日 飯野町合併

〔特産品〕果物（桃・梨・りんごなど）、



福島市長
木幡 浩



土湯こけし、立子山凍豆腐、円盤餃子、いかにんじん、吾妻五葉松

〔観光〕花見山、磐梯吾妻スカイライン、温泉（飯坂・土湯・高湯）、民家園、古閑裕而記念館、四季の里、じよーもびあ宮畑

〔イベント〕福島わらじまつり、ふくしま花火大会、信夫三山眺まいり、福島競馬、飯坂けんかまつり、土湯こけしまつり、金沢の羽山ごもり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「行ってみたい。住んでみたい。住んでよかった。住み続けたい！」と思えるまち、鉾田を目指して

自然あふれる恵まれた環境を生かして

鉾田市は、東は鹿島灘に面し、南は北浦、北は涸沼ひぬまに接し、内陸はほとんどが平坦地へいたんであります。その平坦な地形と温和な環境を生かした農業が基幹産業であり、首都圏の食料供給地となっております。特に、メロン、甘藷かんしょをはじめ、



首都圏の食料供給地として多様な農産物を生産



各種野菜の産出額で全国第1位を誇っております。平成30年2月、東関東自動車道鉾田ICが開通し、さらに首都圏が近くなり、販売エリアの拡大、輸送品質の向上など、今後の販売戦略に有効な条件が新たに備わりました。

また、恵まれた自然環境を最大限に生かし、海では「大竹海岸鉾田海水浴場」「鹿島灘海浜公園」、湖ではラムサール条約に指定されている「涸沼」およびスポーツフィッシングの盛んな「北浦」など、本市の多くの魅力を広く全国にPRし、交流人口の増加を図るため、観光事業のさらなる展開を進めています。

市民が主役の住みよいまちづくりに向けて

まちづくりの基盤を支えるのは

「人」であると考えます。現在の本市を考えると、喫緊の課題として取り組まなければならないのが人口減少対策です。平成17年10月の合併により誕生した本市ですが、合併時は5万市民といわれていた人口も、現在は4万8千人強へと減少しております。出生数の減少が続く、さらなる少子化が予想される中であって、何としてもこの急激な人口減少に歯止めをかけるなければなりません。「子どもたちは本市の未来を託す大切な宝である」との思いを全市民と共有し、安心して子どもを産み、育て、暮らせる社会や支援の仕組みの整備強化が求められております。結婚から妊娠、出産、子育て支援、教育環境の充実、雇用の場の創出、住宅支援、生活環境の整備などにつき、行政の縦割りを排し、



「子生の弁天様（こなじのべんてんさま）」として親しまれている巖島神社

政策パッケージとして横断的な切れ目のない支援を充実させることで、「ひと」を育て、「しごと」をつくり、好循環を支える基盤となる「まち」をしっかりと築くことが、将来を担う子どもたちが、住み続けたいと思える本市をつくることになると思います。

さまざまな施策展開で魅力度アップへ

結婚新生活支援事業や、いばらき出会いサポートセンター登録料の全額を補助する結婚対策、従来

の事業を統合した、新たな「HUG（はぐ）くむ子育て応援事業」の実施、不妊不育治療費助成、産後サポート体制などの各事業も継続して実施してまいります。

教育面においては、統合小学校でのスクールバスの無料化をはじめ、運動部活動指導員の配置、特別支援教育支援員の増員、ICT指導員の配置、そして異文化と国際感覚の体験を目的とする中学生海外派遣事業の実施、併せて高等教育における保護者負担の軽減を図るために行っている教育ローン利子助成事業など、教育環境の整備に努めています。

また、地域が元気になるためには、経済の活性化が欠かせませ



市内の海岸で行われるサーフィン大会「波のり銚田メロンカップ」

ん。「新しいビジネスが始まるまち」として、チャレンジショップの場を提供し、専門家による相談体制の整備はもちろん、「がんばる商店支援事業」など創業者支援や既存店舗支援も継続して行います。このように本市に住む「ひと」をサポートすることに努力していきます。

交流人口の増加をチャンスに

人口の増減には、出生・死亡の自然増減と、転出転入の社会増減があります。自然増減を増加に向かわせるには、長期的な展望に立ち、ゆつくりとした着実な増加を目指さなければなりません。社会増減においては、先ほどから述べていますように、結婚から生活環境の整備までトータル的な魅力のあるまちづくりを行うことにより、受け皿としての本市を用意することで、増加方向へ向かわせることができますと考えます。そのためには「銚田市」を一人でも多くの人に知っていただくことが必要です。本市の恵まれた自然を生かし、観光客を呼び込むことで、交流人口を増やし、多くのリピー

ターによって本市の魅力を全国に拡散していただきたいと思えます。幸い本年は、45年ぶりに茨城県において「いきいき茨城ゆめ国体2019」が開催され、本市においては「スポーツクライミング競技」が行われます。これを良い機会と捉え、全国から集まってくる多くの選手、関係者ならびに応援される方々に対し、市民一丸となつて精いっぱいのおもてなしを

行い、全国へ本市の魅力を持ち帰っていただきたいと思えます。そして本市を知った人たちが、「行ってみたい。住んでみたい。住んでよかった。住み続けたい！」と思つていただくことで、初めて「ひと」「しごと」「まち」の施策の効果を実感し、世界に誇れるまち「銚田市」となることができると考え、市民と一緒に、さらなる努力を重ねてまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 207.61 km²
- ◆ 人口 4万8959人
- ◆ 世帯数 2万405世帯

〔将来都市像〕自然を尊び、農を誇り、喜びを生み出す21世紀のまち銚田

〔まちの特徴〕自然豊かで、温暖な気候を生かした農業が基幹産業の「日本ではちばん野菜をつくるまち」

〔市町村合併〕平成17年10月11日、旭村・銚田町・大洋村の対等合併



銚田市長
岸田一夫



〔特産品〕メロン、甘藷、いちじく、ごぼう、水菜、パセリ、トマト、人参、ほうれん草、豚肉など

〔観光〕大竹海岸銚田海水浴場、ラムサール条約登録「涸沼」、無量寿寺、厳島神社（子生弁天）、大儀寺、各種観光農園

〔イベント〕鹿島灘夜祭り、波のり銚田メロンカップ（サーフィン大会）、銚神社御例大祭、銚田うまかつペフェスタ、ほこたハーフマラソン

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

自然豊かな御前崎は魅力いっぱい 市民とともにシアフワセなミライをつくる

海が自慢の御前崎

静岡県の最南端に位置する御前崎市は、太平洋に面し灯台と一体となった美しい海岸を有しています。北部には牧之原台地の茶園も広がり、海と山と豊かな自然に恵まれたまちです。ウインドサーフィンの聖地として世界的にも有名な「御前崎ロングビーチ」、井伊直虎なおとらに関連した史跡、龍神伝説で



静岡県の最南端に位置する本市からは、海を挟んで富士山も見える

知られる「桜ヶ池」など、観光資源や歴史文化も点在しています。中でも、御前崎灯台はまちのシンボルとして地域の人々から愛され、船乗りにとって「心のふるさと」のような存在です。日本に15

基かない登ることができる灯台の一つで、天気が良ければ展望デッキから伊豆半島、南アルプスや富士山も一望でき、朝日と夕日の両方を眺めることができます。ポットとして人気があります。

太陽の恵みに感謝

全国でも屈指の日照時間を誇り、この太陽の恵みを受けた施設園芸やお茶の栽培が盛んで、御前崎茶の推奨品種である「つゆひかり」は、早生品種わせで色味がよく渋みの少ないまろやかな味わいが好評です。



御前崎ブランド認定式

温暖な気候は家畜の飼育にも適しており、「遠州夢咲牛えんしゅうゆめさきぎう」「遠州黒豚えんしゅうこくちく」「遠州一黒シヤモ」は、御前崎が誇るブランドになっています。いずれも、快適な環境と良質な飼料で愛情を込めて育てられており、肉質の追求はもちろん、安心

して食べていただける逸品となっています。特に「遠州夢咲牛」は、平成9年に内閣総理大臣賞を受賞しており、肉質等級A3以上のブランド牛として、全国トップレベルの牛肉です。

こうした全国に誇れる特産品を、製品の普及向上や地域経済の活性化、市全体のイメージアップを目的に「御前崎ブランド」として認定し、今後全国へ発信していきます。今回（本年4月）、ブランド認定したのは、「遠州夢咲牛」「御前崎生カツオ」「御前崎産アローマメロン」「御前崎つゆひかり」「御前崎クエ」の5品。6月8日には、さらなるイメージアップのために4品目を伊勢神宮へ奉納しました。生産者の愛情がこもった御前崎自慢の特産品をぜひご賞味いただけたらと思います。

住み続けたい まちづくりを推進

本市には他市に引けを取らない魅力がたくさんあります。その魅



白亜の御前埼灯台。太平洋を一望でき地球が丸く見える

力を市外へ発信し、ヒト・モノ・カネ・情報などの資源を呼び込もうと、平成28年度からシティブロモーション事業に積極的に取り組んでいます。

事業は、まず市民が自分たちのまちに愛着や誇りを持ち、胸を張ってまちのことを語れるようにすることを目指しスタートしました。平成28年10月には、「明日の御前崎を、マジ、考えん？」という銘打ったポスターを市内の各所に貼り出し、まちづくりに関心を持つ仲間を市民から募って「OMAE

ZAKIシアワセミライカイギ」を組織しました。

最初の活動は、まちの魅力の創出や再認識を図るため、まち歩きやワークショップを実施しました。活動を通じて、行政だけでは気付くことのできなかった地域の魅力が掘り起こされました。ワークショップには、小中学生や高校生も参加してくれました。子どもたちなりに地域のことを考えてくれており、これからのまちづくりの担い手になってくれる存在だと期待に胸が膨らみました。

平成29年度には、「海GO!風GO!たべてごう!Oh!MYZAKI」というブランドメッセージとロゴマークを市民投票で決定しました。市内外へ本市の魅力を効果的に発信するため、「御前崎市とは、こんなまち」を一言で表したものです。ブランドメッセージやロゴマークは、本市に親しみや誇りを持って、全市民でまちづくりをしていくに当たり、その方向性を示す旗印にもなります。

さらに市外の皆さんに本市の魅力が写真などで視覚的に伝わるよう、市ホームページもリニューアル

ルしました。その中には、シティブロモーションサイト「UMICO」も立ち上げ、魅力溢れる御前崎の素敵なヒト・コト・モノを紹介しています。

シアワセな御前崎のミライを市民の皆さんと一緒に想像し、つくり上げていく歯車が回り始めています。この取り組みが大勢の市民に浸透し、大きなエネルギーとなり、まちづくりの原動力となることを期待しています。

プロフィール

- ◆ 面積 65・56 km²
- ◆ 人口 3万2498人
- ◆ 世帯数 1万2097世帯

〔将来都市像〕子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎

〔まちの特徴〕静岡県最南端に位置する豊かな自然に恵まれたまち

〔市町村合併〕平成16年4月1日、御前崎・浜岡両町が合併



御前崎市長
柳澤重夫

〔特産品〕遠州夢咲牛、御前崎生カツオ、メロン、お茶、クエ

〔観光〕御前埼灯台、御前崎マリナーズ、御前崎ロングビーチ、あらさわふる里公園

〔イベント〕御前崎みなと夏祭、御前崎みなとかつお祭り、桜ヶ池お櫃納め、御前崎市大産業まつり



御前崎は世界大会も開催されるウインドサーフィンの聖地

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「オンラインワンのまち 糸島」を 目指して

「伊都国」から「糸島市」へ

平成22年の市町村合併で誕生した糸島市は、福岡県の西部に位置する人口約10万2千人の市です。市の北側は玄界灘げんかいなだに面し、南側には標高1000m級の背振山系せふりがそびえており、海や山、田園風景など、自然と共存した日本の原風景が残っています。

古代、「魏志倭人伝ぎしわじんでん」に記される「伊都国いとこく」として栄えたこの地は、大陸との交流窓口として重要な地



伊都国の王墓・平原遺跡から出土した、国宝「内行花文鏡」

でした。市内には、当時をしのぶ史跡が点在しており、多くの貴重な出土品が発見されています。

中でも「平原遺跡」は、国宝に指定された国内最大の銅鏡「内行花文鏡うちまきやう」が出土しており、三種の神器「八咫鏡やたがみ」との関連性や卑弥呼ひみこのルーツについて語られるなど、多くのロマンを呼んでいます。

「ブランド糸島」の確立に向けて

市発足以来、豊かな自然環境や新鮮な農水産物、ロマンあふれる歴史など、旧市町が持っていたそれぞれの魅力が相乗効果を生み出し、大都市福岡市からのアクセスの良さも相まって、メディアや口コミで注目を浴びました。

特に、種類が豊富で質の高い糸島産の食材は、多くの方から高い

糸島」を

評価を受け、関東・関西圏を中心とするシティプロモーションを行う上で大きな力となりました。おかげさまで、今では、一流百貨店での催事や有名ホテルのメニューなどにも「糸島産」という肩書を前面に出していただけるようになり、「糸島」という一つのブランドを確立することができたのではないかと感じています。

また、シティプロモーションと併せて進めてきた定住促進策も功を奏し、子育て世代を中心に、本市への移住を希望する人が増えていきます。これにより、市誕生以来減り続けてきた人口も増加に転じ、現在では、過去最高の水準にまで人口が伸びています。

九州大学「100年の大計」の受け皿として

そのような中、平成30年10月には、九州大学伊都キャンパスの移転が完了し、学生・教職員合わせて約1万9千人が活動することとなりました。

九州大学とは、これまでも連携協定を締結し、地域の課題解決や産業の活性化、教育などをテーマとして、年間100件を超える連携研究交流事業を行ってきました。今後は、こうした取り組みのさらなる充実が期待されます。

本市では、創立100年の歴史を誇る九州大学の本市への移転を受け、大学、市民、関係事業者と



九州大学伊都キャンパス

ともに、九州大学の「これからの100年」を支える学術研究都市づくりの力を注いでいます。

糸島サイエンス・ヴィレッジ構想

特に、大学の基礎研究や知的資源を実用化・事業化するため、企業・研究所などが集積し、新たな事業・サービス・財を生み出す拠点をキャンパス近隣に整備する「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」の実現に向け取り組みを進めています。

現在、民間主導で、大学発ベンチャーのための研究施設やインキュベーション機能をはじめ、研究



日本の渚百選にも選ばれた桜井二見ヶ浦の夕日

者や民間企業・地域住民がオープンに交流する場や、研究者の居住・宿泊・生活利便施設などを伊都キャンパス隣接部に設置することとしており、今後、実現化に向けて準備委員会を設置し、具体的なロードマップを策定する予定にしています。

国際化への対応

また、九州大学には、世界約100カ国、約2400人の外国人留学生がいますが、このうち、約8割の約1900人が伊都キャンパスで学んでおり、今後さらに増える見込みとなっています。

こうした九州大学のさらなる国際化に合わせ、外国人留学生や研究者が快適に暮らすことができる空間や、新たなビジネスが生まれる機会を大学隣接部に創出したいと考えています。

本市では、その拠点形成のため、「糸島市九州大学国際村構想」を策定し、キャンパス南側を「国際村」と位置付け、留学生などの住居・滞在施設、生活利便施設の整備促進、保育施設・学校などの充実、交流機会の創出、アクセス向上などを進めていく予定です。ほかに、市内には就労や就学

などで、外国人が多く生活していることから、本市では「多文化共生推進計画」を策定し、さまざまな国籍の方にとって住みよいまちづくりを目指したいと考えています。

オンリーワンのまち、糸島

九州大学の「知力」や「活力」は、本市が持つ豊かな自然、食材、悠久の歴史などの魅力に、新たなエッセンスをプラスしてくれる貴

プロフィール

- ◆ 面積 215.70 km²
- ◆ 人口 10万1637人
- ◆ 世帯数 4万2460世帯

〔将来都市像〕人も元氣 まちも元氣
新鮮都市 いとしま

〔まちの特徴〕悠久の歴史と自然に恵まれた食材豊かな魅力あふれる都市

〔市町村合併〕平成22年1月1日、旧前原市、旧糸島郡二丈町、旧糸島郡志摩町による対等合併



糸島市長
月形祐二



〔特産品〕糸島カキ、天然ハマグリ、天然マダイ、いちご、はるか(かんきつ)、糸島牛、糸島豚、ふともすく、花卉
〔観光〕桜井二見ヶ浦、芥屋の大門、芥屋・深江海水浴場、白糸の滝、フォレストアドベンチャー糸島、雷山千如寺
〔イベント〕桜井二見ヶ浦大注連縄掛祭、糸島市民まつり、福岡マラソン、糸島クラフトフェス

重なる資源であり、大学を核とした学術研究都市の形成は、本市の新たな魅力として、国内のみならず、国外の人々にも訴求する大きな要素となると捉えています。この九州大学を「地域の宝」と捉え、今後さらに連携を深めていくことで、市の魅力を向上させ、他のどこにもない「オンリーワンのまちづくりを目指してまいります」と考えています。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。